

2025年度第2回町田市学びの多様化施策検討委員会（議事要旨）

日時 2025年10月8日 15:30-17:00

場所 町田市役所10-2・3会議室

出席者

【委員】

委員長 小林福太郎

副委員長 石坂 泰弘（学校教育部長）

委員 高祖 恒子

山登 敬之

小平 千佐子

【事務局】

教育センター所長 鈴木敬之

統括指導主事 鈴木和宏

指導主事 浅野徹

教育相談担当係長 掛川育子

教育相談主任 鈴木義弘

議事

1 不登校対応マニュアルの改訂について

事務局から、新しい『不登校のための対応マニュアル』（町田市不登校対応ガイドライン）の原案を提示し、委員から意見をいただいた。

委員質疑・意見

- ・現行版と比較し分かりやすい。基本的な考え方がきちんと整理されている。
- ・マニュアルに基づいた教員研修が実施できるとよい。
- ・すぐに手に取ってもらえるよう、ダイジェスト版があるとよい。
- ・保護者向けの情報提供用の冊子の作成や、引き続きの交流の場の提供なども併せて検討できるとよい。

2 学びの多様化学校基本構想について

事務局から、「学びの多様化学校」の2029年度開設に向けた準備として策定する「学びの多様化学校基本構想」の原案について説明。

委員質疑・意見

- ・基本構想のリーフレットが誰向けになっているのか、明示できるとよい。
- ・分教室の現状についての報告あり。
- ・今までの学校文化に縛られないような取り組みが大事。また、建物という環境自体をどうするかも大切な点。専門家に入ってもらって、廃校舎を見違えるものにしてもらえたら。

- ・子どもたちの意見を聞く必要がある。本校を作るにあたっては、ゆめのきの子どもたちをはじめとして、どういう学校であれば通いやすい・居心地がよいというのかを意見を聞けるとよいのでは。
- ・施設面、指導の面など、既成概念に囚われない全く新たな発想が必要では。